

# 香港、ほぼ親中派独占へ

## 議会選候補者 民主派主張は数人

【香港＝木原雄士】12月19日投票の香港立法会（議会）選挙で親中派が議席をほぼ独占する見通しになった。候補者が「愛国者」かどうかを審査する政府の資格審査委員会が19日、審査結果を発表し、選挙の構図が固まった。定数90に対して自ら

民主派と名乗る候補者は4人程度にとどまった。今回の立法会選は中国の習近平（シー・ジンピ）指導部が「愛国者による香港統治」を掲げて選挙制度を大幅に見直してから初めて。定数90に対して154人が立候補を届け出、審査委は15

3人の出馬を認めた。主要な民主派政党が参加を見送るなか、届け出時点で民主派を名乗ったのはわずか4人程度にとどまった。自らを親中派でないと主張する中間派は9人ほど。いずれも知名度が低く、一部は中国当局から立候補を促され

たとの観測もある。審査委トップの李家超・政務官は19日の記者会見で「異なる政治理念や背景を持つ候補が含まれ、バランスが取れている」と述べたが、選挙の体裁を整えるために、非親中派の出馬をあえて容認したと受け止められている。

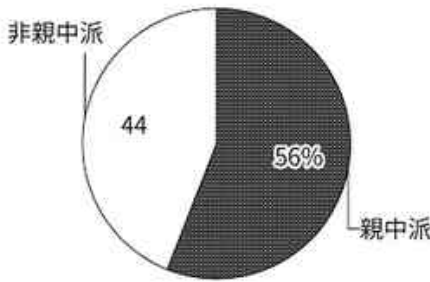
香港紙・明報によると、全候補者の4分の1程度が中国の国会にあたる全国人民代表大会（全人代）や国政助言機関、全国政治協商会議（政協）などの委員で、中央政府とつながりが深い。香港メディアの分析では自称民主派や中間派の獲得議席は数

みだが、前回2016年選挙では候補者の4割以上が民主派など非親中派勢力だった。一般市民の投票で決まる議席も多く、民主活動家の羅冠聡（ネイサン・ロー）氏が23歳で当選するなど関心を集めた。

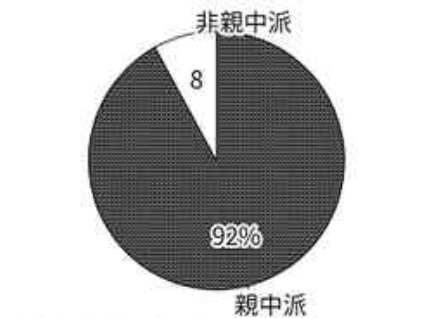
今回は候補者の9割超を親中派が占める。全90議席のうち、70議席を親中派の選挙委員や企業が決め、市民が投票できるのはたった20議席だ。有権者の関心は低く、投票率が過去最低の3割程度に下がるとの見方も出ている。

香港政府は白票を投じるなどの抗議活動を警戒する。すでに呼びかけの投稿をインターネット上で転載したとして3人を逮捕した。李氏は「棄権や無効な投票を呼び掛けるのは違法であり、必ず対処する」と述べ、厳しく取り締まる考えを示した。

2016年立法会選の候補者



2021年立法会選の候補者



(注) 地元報道などを基に分析



李家超・政務官は白票呼びかけを厳しく取り締まる方針だ。ロイター